



教文館 重版案内

4月7日発売

なぜ子どもは神を信じるのか？

人間の宗教性の心理学的研究

J.L.バレット[著] 松島公望[監訳] 矢吹理恵／荒川歩[編訳]



神への信念は果たして「教え込み」によるのか？

幼い子どもはなぜ、親が無神論者でも熱心に神を信じるのか？

見えない天使や悪魔を信じることが、

心理学や進化の観点で合理的と言えるのはなぜか？

宗教が人生に与える影響を示し、「信じること」の価値を問い直す、最新の研究。

SNSで話題の書！
待望の重版出来！

- 著者紹介** J.L.バレット 1971年生まれ。フラー神学大学院心理学教授、発達研究センター所長。オックスフォード大学「人類学と心の研究センター」元上級 研究員。「ブループリント1543」代表。
著書 Why Would Anyone Believe in God? (Altamira Press, 2004) ほかに多数。
- 監訳者紹介** 松島公望 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科博士課程修了、博士(教育学)。現在、東京大学大学院総合文化研究科助教。
著書 『宗教性の発達心理学』(ナカニシヤ出版、2011年)ほか。
- 編訳者紹介** 矢吹理恵 白百合女子大学大学院文学研究科発達心理学専攻修了、博士(心理学)。現在、東京都市大学メディア情報学部准教授。
著書 『国際結婚の家族心理学——日米夫婦の場合』(風間書房、2011年)ほか。
荒川歩 同志社大学大学院文学研究科心理学専攻修了、博士(心理学)。現在、武蔵野美術大学造形構想学部教授。
著書 『宗教を心理学する』(誠信書房、2016年、分担執筆)ほか。

A5判・並製・270頁・定価2,970円(本体2,700円+税) ISBN978-4-7642-7464-8 C0016